

ロシア・プーチン大統領殿 ロシア大使館殿

市民を殺さないでください。
子どもたちを殺すのはやめてください。
自国の未来ある若い兵士を殺さないでください。
ウクライナへの軍事侵攻をやめてください。

今回のロシアによるウクライナへの軍事侵攻では、住まいだけではなく、学校、幼稚園、病院、特に産科・小児科病院まで破壊し、非戦闘員である一般市民や小さな子どもまで無差別に殺戮されています。そしてこの戦争に演習として駆り出され命を落としているのは、未来ある若者たちです。この侵攻は、世界中の、平和を願う市民の希望を踏みにじるもので、断じて許すことはできません。

また、チェルノブイリ原発やザポロジエ原発をロシア軍が攻撃し制圧したことは重大です。原子炉が破壊された場合、取り返しがつかない大惨事を引き起こすことは、1986年のチェルノブイリ原発事故ですでに経験済みでしょう。私たちも2011年に福島原発事故を経験し、原発による被害を2度と繰り返してはならないと考えています。

特に、プーチン大統領が「核兵器の先制使用も辞さない」と述べたことは、核兵器禁止条約が禁じた違法行為であり、人類と地球を破滅に導くもので、唯一の被爆国であり平和憲法を掲げる国・日本国民として、絶対に許すことはできません。

家庭栄養研究会は、1969年創立以来、子どもたちの健全な未来を願い、「心と体と社会の健康を高める食生活」を指針に、戦争のない平和な社会を求めてきました。

ロシア軍は直ちに戦闘を中止し、即刻ウクライナから軍を撤退させるとともに、平和的解決に向け、国際社会との対話と協調による外交に立ち戻ることを強く求めます。

以上

2022年3月15日

家庭栄養研究会/株式会社 食べもの通信社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-46